



地域子育てネットワークだより

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県県民生活部男女青少年課

E-MAIL : danjoseishounen@pref.hyogo.lg.jp 電話 : (078) 341-7711 (内線 2780)

令和5年10月号



こども家庭センターへの児童虐待相談件数

令和4年度に県こども家庭センター（中央、尼崎、西宮、川西、加東、姫路、豊岡）が受け付けた児童虐待相談件数は**5,710件**で、令和3年度と比べて94件減少（前年度比98.4%）したものの、**高止まりの状況**です。

主な虐待者は実父が2,637件で**全体の46.2%**と最も多く、次いで**実母**が2,594件で**45.4%**。**実父と実母を合わせ**ると5,231件で**全体の91.6%**を占めます。

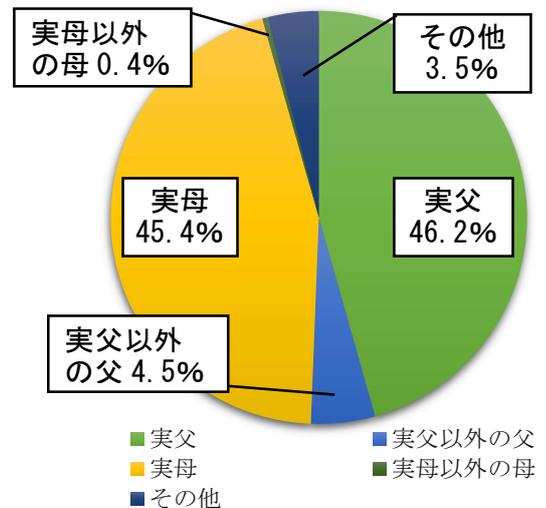
被害を受けているのは、**小学生以下の子ども**が4,263件と**全体の74.7%**を占めます。

相談種別としては**心理的虐待**（子どもの目の前の家族に対するDV）が3,512件と最も多く全体の61.5%、次いで**身体的虐待、ネグレクト**（保護の怠慢ないし拒否）が続きます。

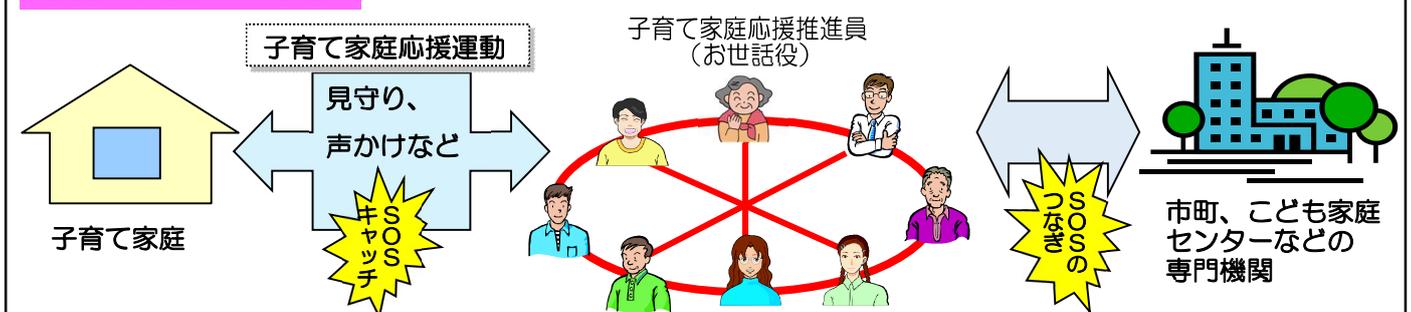
相談経路は**警察からの相談**が64.1%と**最も多く**、前年から**307件増加**。次いで**近隣・知人から**となっています。

「子育て応援ネット」が取り組む登下校時の見守りや、声かけ、SOSキャッチ活動など**地域ぐるみの子育て応援**がますます求められています。

主な虐待者



子育て応援ネット事業



話し合ってみよう！ #ネットとゲームのルールづくり

子どもたちにとっても、インターネットやゲームは楽しいものです。しかし、使い方によっては、**日常生活に影響**が出たり、**トラブル**に巻き込まれたり、**健康に悪影響**を及ぼすことがあります。**子どもたちが安全に安心してネット・ゲームを使用するためには、家族で話し合い、各家庭の実情に応じた、ネット利用のルールをつくる**ことが大切です。インターネットとの上手な付き合い方を家族で話し合っ、**「わが家のルール」**をつくりましょう！



ポイント

- ① 家族で話し合ってルールを決めましょう
- ② ルールは定期的に見直しましょう
- ③ パレンタルコントロールを活用しましょう

詳しくは兵庫県HPをご覧ください

[ルールづくり](#)

子育て応援ネットの活動紹介



声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します

尼崎市子育てサークル実行委員会は、今年度は**市内16サークル**で構成されています。

子育ての**不安感や孤立感を軽減**し、地域における子育てを楽しむ環境づくりを推進するため、就園前の子どもを持つ保護者が集まり、地域で自主的に活動する**子育てサークルに対する支援**を行っています。

市内を5つの地域に分け、サークルの皆さんが親子で楽しめるように各地域でテーマを決めての交流イベント・全サークルが集う全体イベント・サークル代表が集まり**情報交換をして活動時の悩みを共有**、地域イベントでのブース出店などの子育て支援もしています。

情報誌を発行し、今年度より**尼崎市HP**からも活動内容の詳細がご覧になれます。



これからも、親子がリラックスして交流できる**楽しい空間作り**を心掛けていきたいと思えます。

尼崎市子育てサークル実行委員会 会長 仲波名 正子

まちの子育てひろばの活動紹介



相生市 コープ子育てひろば
「わいわいひろば相生」

「わいわいひろば相生」は子育て中のお母さんと子ども達が、**楽しく集える場**として開催しているひろばです。8月2日(水)には、兵庫県の**ひろばアドバイザー**にお越し頂き、「親子DEダンス遊び」をテーマに開催されました。親子10組、総勢36名の参加がありました。



みんな最初は**緊張した表情**をしていましたが、リズムに合わせて踊ったり、フラフープ・タンバリンなどを使って体を動かすうちに、子ども達も保護者の方も表情が**ニコニコ笑顔に変身**していました。子ども達も「見て！フラフープ

でなわとびができた！」「トンネルが作れた！」などと、**いろいろな発見があった**ようで、本当に楽しい時間を過ごす事ができました。

みんなで何かを一緒にする事で、「ニコニコ笑顔」「元気パワー全開」になれるのは**素敵**だなと感じました。



コープ子育てひろば わいわいひろば相生 代表 山崎 あすか

連載

第165回

子どもの墜落事故を防ぐ



県立こども病院名誉院長 中村 肇

秋本番です。感染症の流行も収まり、**注意すべきは子どもの事故**です。自宅の窓を開け放し、清々しい空気を取り入れようとする秋に、気をつけたいのが**ベランダ・窓からの墜落事故**です。

最近5年間に、9歳以下の小児が建物から墜落し死亡する事故が37件も発生しています。とくに3~4歳で多くみられます。**年少児ほど体重に占める頭の割合が大きく**、墜落時に頭が下になり、**頭部外傷が起こりやすく、重症にもなりやすい**のです。

事故発生の原因としては、ベランダや部屋の出窓から転落、とりわけ、**ベランダや窓際の椅子や不用意に置かれた物**を踏み台として、転落するケースが多くみられます。

予防対策としては、

- 1) 子どもだけでベランダに出さない、**ベランダを遊び場にさせない**
- 2) 窓の近くやベランダに**踏み台になるようなものを置かない**
- 3) 出窓には**必ず施錠**しておくこと

などに気をつけてください。

